

文鮮明天地人真の父母宇宙聖和3周年記念週間を開始

主題「平和で世界を連結しよう」真の父母様の平和思想と生涯業績に焦点

「文鮮明天地人真の父母宇宙聖和3周年記念週間」が始まった。2012年天曆7月17日(陽曆9.3)午前1時54分、人類の救世主・再臨メシヤ・真の父母・王の王であられる文鮮明天地人真の父母は、地上でなすべきみ旨を完全に完成・完結・完了され天上に登られた。

真のお父様の勝利的生涯と宇宙聖和と新しい歴史の開始
真のお父様は、2010年に天曆時代を発表して以来、聖和を予備されるように、過酷だというほどに聖体に変な無理を加えられ、摂理の路程を歩まれた。世界巡回講演を10回以上され、毎日訓読会を通して緊迫に進む摂理を食口に一つ一つ教育された。

真のお父様は聖和される前、地上での最後の祈禱で「復帰摂理の使命を全てなした！」と宣言なさることにより、天の聖業を成功裏に完成・完結・完了したことを明らかにされた。聖和以来、13日間韓国をはじめとする世界各国に焼香所を設置して多くの弔問客が訪れ、各国頂上が調和を弔花を贈り哀悼の意を表した。

文鮮明天地人真の父母宇宙聖和式は、2012年天曆7月29日(陽曆9.15)午前10時、全世界の前・現職国家元首と平和指導者300余人をはじめ、国内外のVIP、統一家公職者と食口3万5千人が参加して清心平和ワールドセンターと清平聖地全域で行われた。

国内外のVIPは「文総裁は生涯、人類が相続し発展させなければならぬ多くの業績をこの地に残された。文総裁は超宗教運動の勝利者であり、私たちすべてに神様のみ旨に従って生きろと教えられた。その崇高な業績は永遠に記憶されるだろう」と尊敬と感謝の心を伝えた。

宇宙聖和式は、真のお父様のみ言葉と愛と業績を振り返り、その生と教えに従い天一国を定着させることを決意する新しい出発の時間だった。全世界の食口は「愛しています。永遠に待ちます」「お父様！み旨を必ずなし遂げます」と涙で誓い決意した。

真のお母様は聖和式3日後の天曆8月2日(陽曆9.17)、三日礼拝兼世界指導者特別集会に出席して「中断なき前進」を促した。特に真のお母様は真の父母様の伝統相続、祝福家庭理想完成、民族的メシヤの使命と責任完遂、心情文化共同体実現など、今後統一家の行く道を提示した。



一方、真の父母様は、新しい時代と新しい歴史の始まりである基元節を宣言され、実体天一国完成に向けて偉大な旅を出発された。そして、天一国憲法を制定・頒布し『天聖經』『平和經典』『真の父母經』など天一国の3大經典を編纂された。また真の父母様は、世界的摂理を経綸して行かれるための天一国の外

的組織を整備された。天一国最高委員会を中心に天政苑、天議苑、天法苑、天財苑、天公苑など5苑を開苑された。また、世界本部を天正宮に置き、言語と文化を中心に大陸を細分化され、各大陸に特命総使を派遣された。更に、摂理国と戦略国を置かれ、天一国実体化のために統一家の能力を集中するようにされた。(2面に続く)

文鮮明天地人真の父母天宙聖和3周年記念事業現況

	天曆6.17~7.13(陽曆8.1~26)	天曆6.17~7.13(陽曆8.1~26)	天曆7月15日(陽曆8.28)	天曆7月16日(陽曆8.29)	天曆7月17日(陽曆8.30)	天曆7月18日(陽曆8.31)
8□	2015全国成和キャンプ (8.7~9) 世界ジャンボリー修練場 韓国協会	2015 世界気候環境フォーラム 韓国プレスセンター 15:00 世界日報	第1回鮮鶴平和賞 インターコンチネンタルホテル 10:00 鮮鶴平和賞委員会	青年学生世界総会 真の父母様特別集会 天宙清平修練苑 17:00 W-CARP	天宙聖和3周年記念 敬礼式 天正宮07:00 記念式 清心平和ワールドセンター09:00 文化公演 清心平和ワールドセンター 10:30 頂上午餐 天正宮 12:30	祝勝会 天正宮 09:30
	宗教指導者親善サッカー大会(8.22) 河南総合運動場09:00 韓国宗教協議会	PEACE ROAD 2015 世界120か国縦走完了記念式 8.27 11:00 光化門中央広場 ピースロード組織委員会	World Summit 2015 鮮鶴平和賞受賞者講演 インターコンチネンタルホテル 17:00			
	国際学術大会(8.24) 鮮文大学校 10:00 鮮文大学校文鮮明研究院 統一思想研究院、世界平和教授協議会	PEACE ROAD 2015 韓半島統一と世界平和シンポジウム 8.27 14:00 国会議員会館大会議室 ピースロード組織委員会				
	愛の分かち合い祝祭/聖地巡礼9月中 全国教会及び主な聖地 韓国協会					
	夢の種音楽会(8.19) KTチャンパーホール 19:30 ボランティア愛苑					
	武道祝典 (8.25) 清心国際青少年修練院 世界平和武道連合					
	World Summit 2015 8.27~31ソウルインターコンチネンタルホテル世界UPF			青年学生世界総会 8.27~30天宙清平修練苑World CARP、世界本部		天地人真の父母様生涯業績展示会 8.27~30清心平和ワールドセンター、天正宮日本協会、天正宮博物館
	PEACE ROAD世界大長征 5.29~8.30全世界韓国UPF、南北統一運動国民連合					
9□	天曆7月19日(陽曆9.1)	天曆7月20~21日 (陽曆9.2~3)	天曆7月22日(陽曆9.4)	天曆7.23~24(陽曆9.5~6)	天曆7月25日~8月18日(陽曆9.7~30)	
	真の父母経出版記念式 天宙清平修練苑 10:00 歴史編纂委員会	天一国指導者特別教育 9.2~4 天宙清平修練苑 世界本部	天一国指導者特別教育閉会式	教会成長カンファレンス 9.4~6 清平修練苑親和館B 韓国協会 聖地巡礼 9.4~6 全国聖地 韓国協会	天一国最高委員会 9.7~8 天正宮 天一国最高委員会	新家族歓迎祝祭 9.12~13 地域別実施 韓国協会
その□	家庭教育講師養成プログラム 8.31~9.119:00 天宙清平修練苑 世界本部、韓国協会、日本協会	統一共感フォーラム 7.3~30地域別実施 世界平和女性連合	第1回ピースロードシンポジウム 8.5 10:00 国会議事堂会議室 大学生PEACE ROADセミナー 7.7~11中国白頭山 世界平和トンネル財団	PEACE ROAD探訪 5.27~6.3 米国ラスベガス PEACE ROADフォーラム 6.17 07:00 63コンベンションセンター 世界平和トンネル財団	第1回統一写真コンテスト 8.21~9.11 世界日報ユニホール 世界平和青年連合 2015家和萬事性キャンペーン 7.18、7.25、8.2 九里、麗水、龍山 韓国青少年純潔運動本部	CARP麗水特別修練 6.18~7.24 麗水清海研修院 私たちの歌創作コンテスト 8.22韓国カープセンター CARP希望団 8.12~16カープセンター~麗水 韓国カープ

主題「平和で世界を連結しよう」 真の父母様の平和思想と生涯業績に焦点

世界平和統一家庭連合(以下、家庭連合)の創始者・文鮮明天地人真の父母天宙聖和3周年記念式が来たる天曆7月17日(陽曆8.30)午前9時、京畿道加平郡清心平和ワールドセンターで、海外の前・現職国家元首及び国内外の主要人士をはじめ、3万人が参加して行なわれる予定である。

家庭連合を筆頭に、天宙平和連合、世界平和女性連合、南北統一運動国民連合、韓国大学原理研究会、世界平和青年連合、韓国宗教協議会、圓母平愛財団、鮮鶴平和賞委員会、韓国文化平和連合、世界日報、鮮文大学校など20余りの機関と団体は、文鮮明天地人真の父母様を追慕し、様々な記念事業を推進している。

天宙聖和3周年には「平和で世界を連結しよう」というテーマで、国境、人種、文化、宗教、理念の壁を越えて平和世界を実現するための「第1回鮮鶴平和賞授賞式及び受賞者特別講演」「World Summit2015」及び「Peace Road2015」「世界青年学生総会」「天地人真の父母生涯業績展示会」「真の父母経出版記念会」「国際学術大会」など、様々な行事が開かれる予定であり、国家と地域別にも様々な分かち合い奉仕・実践プログラムが進行される予定である。今回の記念週間には文鮮明総裁の様々な活動の中から特に、日本を中心とした宣教活動と世界平和と人類福祉のための平和活動の業績と足跡に焦点を当てる。

韓国家庭連合は天宙聖和3周年を迎え、9月から10月まで「平和を抱いた巨人、文鮮明先生の人生は愛でした」という

テーマの下、天宙聖和3周年愛の分かち合い祝祭」を全国231カ所で開催し、特に4大圏域では、靈魂大復興会が開かれる予定である。愛の分かち合い祝祭は真の父母様が施された愛と平和の生を隣人と分かち合い、聖和節を称える汎国民的祝祭の場となるだろう。他にも新食口歓迎祝祭や聖地巡礼など多彩な記念行事が行われる。

一方、「2015全国成和キャンプ」が真の父母様の格別な関心と愛の中で天曆6月23日から25日まで(陽曆8.7~9)、「成和！平和と統一の灯火となれ」というテーマで韓国と日本をはじめ世界各国から5千人の多文化青少年たちが集まり、江原道世界ジャンボリー修練場で開催された。天宙聖和3周年を迎え成和学生に真の父母様の平和思想とビジョンを教える心情文化を共有し、韓半島統一と平和世界実現を念願する意味深い行事であった。

天宙聖和3周年記念行事のハイライトは、第1回鮮鶴平和賞である。鮮鶴平和賞は、真の愛を中心とした世界的な平和運動を生涯の事業として全生涯を捧げた文総裁の生涯業績を称え、その精神を相続発展させるために制定された。

鮮鶴平和賞委員会は21世紀に入って、気候変動と食糧危機による災害が地球の至るところで見られ、遠からず全地球的危機として拡大し、人類の生存そのものを脅かす兆候が見えていると指摘し、人類の未来のための持続可能な平和のための気候変動と食糧危機問題の解決に注目し、第1回鮮鶴平和賞共同受賞者としてアノテ・トン(Anote Tong、63歳)キリバス大統領と、インドのモダドゥグ・グプタ(M.Vijay Gupta、76歳)博士を選定した。

天宙聖和3周年記念天地人真の父母様生涯業績展示会開館式

真の父母様行事主管及び祝禱・世界指導者200余人参加



「天地人真の父母様生涯業績展示会開館式」 真の父母様祝禱

今日この日は、聖和3周年を前に日本宣教57周年と日本協会創立56周年を記念して、真の父母様生涯業績展示会を開始する日です。

真の父母様は、怨讐の国・日本を摂理の中心に立てるために57年間、血と汗と涙の歴史路程を歩まれ、今日の日本統一教会があるまで常に共にありました。

お父様！あなたが見せてくださった、ために生きる真の愛を実践する日本国民となり、摂理歴史の前に不十分だったすべてのことを蕩滅し、摂理歴史の本流の中心に立つように導いて下さい。

お父様！天の父母様の願いであり、天地人真の父母様の願いをなすことができる平和な一つの世界、統一の世界を約束し、なすことができる祝福家庭を誕生させるまで、どれほどご苦労されましたか。

今日ここに展示された物品を見ながら、これまで天が人類を抱くためにどれほどご苦労され精誠と努力をされたかを切実に感じます。父母様が見せてくださった路程に従い、統一家のすべての食口が天一国を創建するにおいて、さらに拍車をかけ最善をつくす群れとなるようにして下さい。

今日この瞬間から、さらに大きく誓い、実践躬行してあなたの誇らしい孝子の賞、忠臣の賞を受けることができるようにされ、誇らしいこの時代をあなたと共に生きている祝福家庭としてすべてを抱いてくださることを懇切にお願いします。

今、受けようとするのではなく、分け与えながら70億人類を抱くことができる私達の姿になることを懇切に求めます。

愛する天地人真の父母様、お父様！愛しています。あなたが見せてくださった生を実践する誇らしい祝福家庭二世・三世となることができるように抱いてくださることを願いながら、準備された物品が、喜びで私達の前に、あなたの前に慰労となるようにして下さい。真の父母様の名で申し上げました。アジュ！

70億人類を抱く姿になること祝願

文鮮明天地人真の父母宇宙聖和3周年記念「天地人真の父母様生涯業績展示会開館式」が天曆7月14日(陽曆8.27)午後3時、真の父母を中心に清心平和ワールドセンター1階ロビーで行われた。

この日、真のお母様は祝祷を通して「天が人類を抱くためにどれほどご苦労され、精誠と努力をされたかを切実に感じることができる展示会となって、父母様が見せてくださった路程に従い、統一家のすべての食口が天一国を創建するにおいて、さらに拍車をかけて最善をつくす群れとなるようにして下さい」と展示会の意味をさらに高める激励のメッセージを伝えられた。

この日の行事には、文妍娥世界平和女性連合世界会長、文薫淑ユニバーサル文化財団理事長、世界平和統一家庭連合(以下、家庭連合)朴仁涉世界副会長、アン・ジュンソク世界副会長、柳慶錫韓国会長、宋龍天日本総会長をはじめ、大陸会長、摂理機関指導者、第1期グローバルトップガン修練生など200人余りが参加した。

徳野英治日本会長の司会で進行された開館式は、真のお母様の入場と共に、真のお母様の祝祷、テープカット、記念撮影の順に進行された。その後、清心平和ワールドセンター2階に設けられた展示場に移動された真のお母様は、花束の奉呈を受けた後、主要指導者と一緒に展示会コースを回り、詳細に観覧された。5番目のセクションでは、展示パネルの前面に設けられた座席に座り、日本での真のお母様講演映像を全て観覧された後、移動された。

その後、真のお母様は天正宮博物館に移られ、天正宮博物館の展示館の前で主要指導者らとテープカットをした後、観覧された。

真の父母様の日本摂理を 一目で見れる企画展

真の父母様の祝福の中で開館した天地人真の父母様生涯業績展示会は「日本摂理と真の父母様の足跡」というタイトルで、天曆7月14日から7月18日(8.27~8.31)までの5日間、清心平和ワールドセンターと天正宮博物館で開かれる。

世界平和統一家庭連合日本協会の主導で準備された今回の展示会は、真の父母様の勝利的生涯の足跡の中で、日本を中心に展開された摂理とこれに同参した日本食口の信仰路程を紹介し、Vision2020勝利のための教育と出発の場を作る目的で企画された。

清心平和ワールドセンターでの展示は、真のお父様の留学時代から最近、真のお母様を中心とした摂理までを年代別に9セクションに区分して「天地人真の父母様と共なる思い出の写真と証&フォトゾーン」を追加し、合計10セクションで2階の廊下にパネル形式で構成した。各セクションの中には真の父母様の各時代別ビデオを上映し、躍動感を加えた。天正宮博物館には、真のお父様の10代留学時代をはじめ、その後の宣教師派遣と正式に宗教法人許可を受ける過程、原理解説と原理講論の初版本、真のお父様の日本訪問と真のお母様の日本全域巡回講演路程など、日本摂理の主な出来事と行跡を知ることができる120点余りの展示品が展示された。

また、1965年真のお父様の最初の日本巡回当時に着用された衣服をはじめ、世界巡回聖地決定時に使用された聖塩、聖地の土、指導者間の書簡、久保木修己会長祝福後に真のお父様が下賜された「日本之情忠孝之源」の揮毫など6部に分けて展示された。

展示物の中には、2002年真のお父様が日本巡回に発たれる真のお母様に、真のお父様の分身のような意味で下さった財布などをはじめ、1994年11月20日日本女性指導者教育を全て終えて、真のお父様が九里中央修練院大講堂黒板に書かれた「十六萬名完成萬歳」の揮毫とサインがそのまま保存されて展示されており、観覧客の目を引いた。今回の天正宮博物館に設けられた展示館には、特に日本協会の積極的な協力と支援で日本8大聖地選定及びその他の下賜された揮毫と主要行事講演文など60余点の所蔵品と一緒に展示され、その価値を増している。

一方、展示館関係者は「日本摂理と真の父母様の足跡」企画展示館の向かい側の真の父母様遺品展展示館には、天一国元年基元節以後、今まで常設展示されているが、今回は約40%の遺品が交換されて改装されたという。

<記事提供:企画広報局>



1.生涯業績展示会(清心平和ワールドセンター)を観覧される真の父母様
2~3.天正宮博物館展示室を観覧される真の父母様

4.文鮮明・韓鶴子総裁生涯業績展示会開幕式の記念撮影の様子

文鮮明天地人真の父母天宙聖和3周年記念「武道祝典」

創設以降40カ国に根を下ろした武道連合・創始者の愛天・愛人・愛国精神相続



1. 武道演武を参観し激励される真のお母様
 2. 花束を奉呈される真のお母様
 3~4. 第2部武道演武の様子
 5. 天宙聖和3周年記念武道祝典後の団体記念撮影

(社)世界平和武道連合(以下、武道連合)主催・文鮮明天地人真の父母天宙聖和3周年記念武道祝典が、天曆7月12日(陽曆8.25)午前10時30分、真の父母様を中心に清心国際青少年修練苑体育館で開催された。

真のお母様 武道演武参観・激励

特にこの日の行事で真のお母様は、直接祝福家庭二世・三世の武道人の演武と祝賀公演を参観され激励された。真のお母様が入場すると、全参加者は熱烈な歓呼と拍手で真の父母様を歓迎した。真のお母様は全体敬礼を受けられた後、武道人二世代表から花束を奉呈され、舞台に設けられた座席に着席され、第2部の武道演武を観覧された。

真の父母様の偉大な生と精神を称え、真の父母様の教えを創造することを決意して約束するこの日の祝典には、世界平和女性連合・文妍娥世界会長、世界平和統一家庭連合(以下、家庭連合)・朴仁涉世界副会長をはじめ、摂理機関長と主要指導者、80人以上の武道人、第1期グローバルトップガン修練生、天宙平和士官生、食口など700人余りが参加した。

文権進理事長は記念の辞で「武道祝典は光復70周年と天宙聖和3周年を同時に迎える意義深い2015年8月を迎え、3年の侍墓精誠を終え、天の父母様と真の父母様を中心に、私たち民族の念願である南北統一のために一致団結して統一時代を開いていくことを決意し誓う祝典」とこの日の行事の意義を述べた。

続いて「平和統一を成功裏になし、環太平洋時代と心情文化世界の主役になるためには、心身を鍛錬し心と体の統一をなし、文武兼全の調和と成熟した人格体として成長しなければならない」と伝え、「真の父母様の思想と精神を伝播し、武道を通じて平和世界の実現に貢献する未来指導者になること」を願った。

柳慶錫韓国会長は激励の辞で「文鮮明総裁は、1997年武道連合創設大会で本然の体の役割を回復し、さらに精神を修養して、心と体の統一を追求する真の武道の道を歩むことを要請された」と伝え、現在40カ国以上に拠点を持つ武道連合の歴史に言及した後、「心身鍛錬と正しい人格を兼ね備えた武道人の皆さんが、創造的で能動的に新時代の変化に対応して

和合と統一の21世紀を作ることを願う」と述べた。

これに先立ち、李基誠苑長は報告祈禱を通して「Vision2020勝利と地上天一国実体化を必ず、なして差し上げることができる天の勇士、統一武道人になるように導いて下さい。天地人真の父母様が、生前に統一武道の名前をつけられ祝福された中で、愛天・愛人・愛国を指導理念とし『鍛錬勇進』して『忠孝之道 萬勝之願』のみ旨を高く生かし、真の父母様の真の愛の権勢がこの地上に臨むようにして下さい」と願った。

武道を通じた平和統一実現の意味

この日の行事は、文平來武道連合会長の司会で、記念式と武道演武の順で進行された。第1部の記念式は開会宣言、敬礼、天一国歌斉唱、李基誠天宙清平修練苑長の報告祈禱、献花及び黙禱、文権進武道連合理事長の記念の辞(ソク・イルジン武道連合副会長代読)、柳慶錫家庭連合韓国会長の激励の辞(李現榮家庭連合副会長代読)の順で行われた。

第1部記念式が終わり、真の父母様が着席されて第2部武道演武の幕が上がった。まず、祝福家庭二世・三世チームが対連及び状況劇を行なった。次に、真の愛平和学校チームがファン・インチュン校長を中心に演武を見せた。三番目に天宙平和士官学校4人の士官生が棒術で節義があり勇猛な姿を披露した。続いて、日本・天父報恩鼓チームが真の父母様に対する忠孝の志を込めて文孝進様の曲『出世しろ』に合わせて特別公演をした。

5番目に善正・仙花の兄弟留学院チームの公演が行われた。特に信出様を中心とした状況劇では闇を突き抜けて、さらに真の父母様の希望になるという祝福子女の固い意志が込められていた。最後に、武道連合演舞が原理的内容である四位基台と授受作用を素材に柔らかな円形運動と強い直線運動が調和をなし、統一武道の真髄を見せた。

この日の行事は、参加者全体が起立して真の父母様に対する尊敬と感謝の心を込めて『愛しています、あなたを』を合唱した後、キム・ドンウ天宙平和士官学校校長が億萬歳四唱をし、記念撮影をして終わった。

行事に参加した京畿北部教区九里教会キム・ヨンギ食口は、「3万双祝福23周年記念日に、末の息子が真の愛平和学校チームで参加した。このような意義深い武道祝典行事に真の父母様に忠孝の姿をお見せできて感謝と栄光に思う」と所感を伝えた。〈記事提供：世界平和武道連合〉



「PEACE ROAD2015」世界120カ国縦走完了記念式が光化門で開催



韓半島統一と世界平和念願・120カ国3万km93日間縦走・世界で30余万人参加



1. 平和統一祈願パフォーマンス
2. 歓迎の辞を述べる柳慶錫天宙聖和3周年実行委員長



3. 歓迎の辞を述べる孫炳浩ピースロード韓国実行委員長
4. ピースロード世界縦走団の記念撮影



4

韓半島統一と世界平和を念願し、全世界の人々が一緒に走った「ピースロード(PEACE ROAD)2015」プロジェクトの120カ国縦走完了記念式が、天暦7月14日(陽暦8.27)午前11時、各界指導者、120カ国の参加者、市民など500人余りと一緒に光化門中央広場で開催された。

ピースロード世界大遠征は「ピースロード2015組織委員会」が主催し、大統領直属の統一準備委員会市民諮問団体の「(社)南北統一運動国民連合」とUN経済社会理事会特別諮問機関である「UPF(天宙平和連合)」が主管し、大統領直属の統一準備委員会と行政自治部、統一部、文化体育観光部が後援した。

世界市民平和の主役をつくる実践の場

天暦4月13日(陽暦5.30)に出発したピースロード縦走は、南アフリカ喜望峰から中東-欧州ルートと、チリ・サンチャゴから中米-北米-日本ルートを経て、最後の終着地である韓半島まで93日間の統一大長征を終えた。

今回の大遠征は、平和を念願する全世界120カ国30万人の市民が参加して、徒歩3万kmを含み自転車、自動車などの交通手段を通して韓半島統一と世界平和を念願し、休みなく縦走してソウルに到着したものである。

文善進ピースロード組織委員長に代わって出席したアン・ジュンソク副委員

長は、激励の辞を通して「ピースロード2015は、各国の指導者と世界の人々に、南北統一と世界平和への熱望を呼び覚ますきっかけとなり、世界の人々自らが平和の主役になることができることを確認する実践の場となった」とピースロードプロジェクトの成果を明らかにした。

柳慶錫天宙聖和3周年組織委員会実行委員長の歓迎の辞を通して「地球村平和の時代を開くために、ピースロードプロジェクトに参加した世界の参加者の皆さんに心から感謝する。『国際平和高速道路』という平和ビジョンと一緒に実践し、地球村一家族の理想を具現しよう」と促した。

孫炳浩ピースロード韓国実行委員長も「在外同胞と世界市民と一緒に韓半島統一とDMZ世界平和公園実現への願いを抱いて120カ国で縦走したことは、格別の意味がある。このような国際社会の協調は、私たちの民族の統一を早めるのに大きく寄与するだろう。一緒に参加してくれた世界の参加者に心から感謝する」と歓迎の挨拶を伝えた。

本式には、各大陸の実行委員長が出席して感想を発表し、大陸別ピースロード行事開催に対する共有の場を設けた。特に、世界120カ国の参加者は、最後のプログラムとして「DMZ鉄柵カット」パフォーマンスと一緒に「私たちの願い」を合唱し、世界唯一の分断国家である韓国統一を祈願した。

韓半島統一と世界平和を念願する地球村プロジェクト

ピースロードプロジェクトは、1981年にソウルで開かれた第10回国際科学統一会議で文鮮明総裁が公式的に提案した「国際平和ハイウェイ」プロジェクトを基盤に準備され、全世界を一つの道で連結することにより、世界の紛争と葛藤を解消し人類を一つの家族にして地球村平和時代を開こうという意味を込めている。

2013年「韓日3,800km平和の自転車統一大長征」で始まったピースロードは2014年14カ国に増え、2015年にはピースロードと呼ばれる新しいプロジェクト名で、アフリカ33カ国、中東2カ国、欧州30カ国、アジア19カ国、南米11カ国、中米14カ国、北米3カ国、オセアニア8カ国など計120カ国で各国ごとに徒歩、自転車、自動車などさまざまな方法で参加する全世界的プロジェクトに拡大された。

韓国は南北統一と世界平和を念願し、ロシア1万2千km自動車大陸横断し、ウラジオストクから東海港に渡ってきた自動車、そして日本列島1万5千km自転車縦走後、下関港から釜山に渡ってきた自転車にピースロード旗を掲げて、世界各大陸別代表参加者と一緒に天暦7月8日から14日まで(陽暦8.21~27)、釜山からソウルまで1千kmにわたって自転車国土縦走を展開した。<記事提供:ピースロード組織委員会>

2015韓半島統一と世界平和強化増進のための国際シンポジウム

ピースロード世界縦走団歓迎式と共に韓国国会で開催

「2015韓半島統一と世界平和増進のための国際シンポジウム」が天曆7月14日(陽曆8.27)、「ピースロード2015世界120か国縦走完了記念式後、各界指導者と世界縦走団など500人余りが参加して、韓国国会議員会館大会議室で開催された。国会議員研究団体統一未来フォーラムと(社)南北統一運動国民連合が共同主管した国際シンポジウムは、韓半島統一と世界平和を念願し、93日間の大長征を終えた「ピースロード2015」世界縦走団を歓迎し、韓半島統一と世界平和のための方向を模索し、国家的・国民的関心と意志を促す目的で企画・進行された。

ピースロード韓半島統一実現に大きな力
国際シンポジウムは、第1部世界縦走団歓迎式と第2部シンポジウムの順で進行された。第1部歓迎式では、ピースロード2015世界大遠征ビデオ上映後、陽川多文化合唱団、在日平和統一韓国婦人会合唱団、サハリン同胞サムルリチーム「ハヌル」、グローバルトップガンの祝賀公演が繰り広げられ、世界縦走団の入場、花束贈呈、感想発表が行われた。

続いて「統一未来フォーラム」共同代表のチョ・ミョン Chol議員とピースロード韓国実行委員長・孫炳浩会長(南北統一運動国民連合)の歓迎の辞、ファン・ギョアン 国務総理の祝電及びホン・ヨンピョ(統一部)・ユ・イロ(国土交通部)・キム・ジョンドク(文化体育観光部)長官の祝辞文紹介、クラフチュク(Kravchuk)ウクライナ元大統領とチョン・ガブユン国会副議長、セヌリ党チュ・ホヨン国会議員の祝辞などの順で進行された。

第2部シンポジウムは、各大陸の代表が出て「ピースロードを通じた南北統一と世界平和増進」というテーマで、ピースロード実行内容報告とともに発表した。

ファン・ギョアン 国務総理はこの日、ピースロード縦走完了と国際シンポジウムの開催を記念し、「120か国の世界の人たちと共に来た国民の統一念願が集められ、一

日も早く私たちの民族の平和統一がなされることを願う」という内容の祝電を送った。

「統一未来フォーラム」の共同代表チョ・ミョン Chol議員は歓迎の辞で「今年、私たちは分断70年を迎えた。もうこれ以上統一を先送りできない。政府と民間が一体となって、分断時代を終え、統一時代を開くべき時に、120か国の世界の人々が一緒に韓半島統一の旗を掲げ、国際的に推進したピースロードプロジェクトは、私たち民族の統一実現に大きな力になるだろう」と歓迎の辞を伝えた。

孫炳浩韓国実行委員長は歓迎の辞で、「韓国では国土交通部、文化体育観光部、統一部、大統領直属統一準備委員会の後援と行政自治部の特別支援で、ピースロード行事が行われた」と明らかにした後、「韓日海底トンネルとベーリング海峡トンネルのビジョンが実現され、遠からず夢のピースロードを走る日が来るだろう。一人で見れば夢だが、一緒に見れば必ず現実になる。統一のその日までピースロードは続くだろう」と参加者に韓半島統一と世界平和のための運動に持続的に参加することを促した。

韓半島統一は平和世界実現の礎石

クラフチュク(Kravchuk)ウクライナ元大統領は祝辞で、「120か国で宗教と人種を超越し、世界の中の紛争と葛藤を解消するために推進されたピースロードプロジェクトは、平和世界実現に対する非常に優れたプロジェクトだ。私はまた、世界市民の一人として、平和世界を作る先頭に立つ。さらに韓半島の平和統一のために協力する」と明らかにした。

ホン・ヨンピョ統一部長官は祝辞文で「韓半島の平和統一基盤構築のための『PEACE ROAD2015』を成功裏に終えたすべての参加者の皆様に祝賀の気持ちを伝える。

120か国で一緒に行なった今回の行事は、世界唯一の分断国家である韓半島統一がまさに、世界平和の礎であることを知らせる貴重な機会になったと思う。今回の行事が平和統一に対する私たちの意志で国際社会の支持と



1. 歓迎の辞を述べる孫炳浩ピースロード韓国実行委員長
2. 祝辞を述べるレオニード・クラフチュクウクライナ初代大統領
3. 歓迎の辞を述べるチョ・ミョン Chol国会議員

4. ピースロード世界縦走団歓迎式の様子
5. 挨拶をするチョン・ガブユン国会副議長
6. 国際シンポジウムの様子

協力を引き出す大きな役割をするものと期待し、大長征を共にしたすべての方々の健勝を祈願する」と伝えた。さらに、セヌリ党のチュ・ホヨン議員と新しい政治民主連合のソル・フン議員が祝賀メッセージを伝えるなど、与野党の多数議員が出席し、米国会議員らも参加した。大陸及

び国家のピースロード代表らは「ピースロードを通じた南北統一と世界平和の模索」というタイトルで、5分ずつ主題発表し、北米、中米、南米、東アフリカ、西アフリカ、中東、欧州、東北、アジア、中華圏、オセアニア、日本、韓国などの順で発表した。〈記事提供:ピースロード組織委員会〉

「文鮮明先生の平和・統一運動とビジョン」テーマに6カ国35大学57名教授参加

「文鮮明天地人真の父母宇宙聖和3周年記念国際学術大会」が天曆7月11日(陽曆8.24)、「文鮮明先生の平和・統一運動とビジョン」というテーマで鮮文大学校国際会議室で行われた。この日の国際学術大会には、世界的な平和学者であるノルウェーのヨハン・ガルトゥング博士をはじめ、6カ国35大学から57人の教授が参加し、真のお父様の平和思想と運動、そして韓半島統一と世界平和のための知恵を集めた。

真の父母様の平和思想と運動を学問的に照明

この日の行事は、世界平和教授協議会、鮮文大学校文鮮明研究院、統一思想研究院が共同主催し、文妍娥世界平和女性連合世界会長、アン・ジョンソク家庭連合世界副会長、チェ・ユンギ統一グループ財団理事長、黄善祚鮮文大学校総長、孫炳禹世界平和教授協議会理事長をはじめ、400人の各界指導者、学者、学生が参加した。

黄善祚総長は大会の辞を通して「平和と統一の新しい世界を実現するために努力された文鮮明先生の思想とビジョンを解放70周年を迎えて、発展的に相続するために国際学術大会を準備した」と大会開催の趣旨を説明した。孫炳禹理事長は「文鮮明先生の平和のための活動は、神様の創造理想を実現しようとする公義の路程だった」と尊敬の気持ちを伝えた後、「今回の行事を契機に、文鮮明先生の研究が本格的に活性化することを願う」と歓迎の挨拶をした。ヨハン・ガルトゥング博士は「韓半島の未来展望」という題目の基調講演で、「南北韓が解放70周年を越えて、韓半島の平和を実現するには、統一より相互対話を通じた信頼関係を構築することが急務」としながら、韓半島の平和定着と統一のために「北東アジア共同体形成、6カ国協議を通じた周辺4大国の平和定着、韓・中・日間の歴史清算を優先的に進める必要がある」と具体的に指摘し注目を集めた。また、ガルトゥング博士は宇宙聖和3周年を迎えた真のお父様について、「国際ハイウェイなど、世界平和のための様々な運動を展開して来られたことをよく知っており、これに対して深い印象を受けている」とし、「文鮮明先生の聖和後にもこうした努力が途絶えることなく、持続することを願う」と述べた。

9つの分科発表と討論・韓半島平和分科に関心集まる

この日の国際学術大会では、学術思想、宗教平和、韓半島平和、世界平和、社会運動、未来平和、家庭平和、文化芸術、平和学など9つの分科に分かれて学者らの熱い発表と討論が行われた。特に最近、南北間の軍事的



1.基調講演をするヨハン・ガルトゥング博士
2.大会の辞を述べる黄善祚鮮文大学校総長
3.歓迎の辞を述べる孫炳禹理事長
4.閉会の辞を述べるイ・ジョン文鮮明研究院院長
5.天宙聖和3周年記念国際学術大会の全景
6.発表と討論を聞く聴衆ら
7.国際学術大会後の記念撮影

対峙と葛藤の高まりにより、韓半島平和分科への関心が高かった。韓半島平和分科でキム・グンシク慶南大教授は、「平和な統一、文鮮明先生の夢と実践」という主題発表で、「南北韓は光復70周年を軍事的対立と反目で過ぎてしまった、韓半島の平和は失踪し、統一は空虚な山びことなったこの時、文鮮明総裁の生涯が新たに注目されている」と明らかにし、今後、韓半島平和のために進むべき方向を提示した。イ・ジョンウ北朝鮮大学院大学教授は、「韓国と北朝鮮の統一案を樹立するのに、文鮮明先生の統一案に対する原則は、少なからぬ意味を提供することができる」とその意味を強調した。また、オ・ギソン京仁教育大教授は、文鮮明先生の統一に対する努力に注目した。続いて、キム・ハクソン忠南大教授、イ・スソク国家安保戦略研究員、キム・イルギ国家安保戦略研究員が発表内容についての討論を行った。また、世界平和分科でオ・ヨンダル忠南大教授は「現国連の限界と代替的平和国連」というタイトルで、真の父母様が提唱された平和国連のビジョンについて発表し、ホン・ジョンピョ宮崎国際大教授は「文鮮明先生の北東アジア平和共同体思想」を、イ・シヌク東亜大教授はソ連の消滅とその後の平和定着のために努力した文鮮明・ゴルバチョフ会談を、グローバル・ガバナンスの観点か

ら注目した。発表に続いてホン・ギジュン慶熙大教授、チェ・チュンフム上海外国語大学教授、ウ・ピョンキュン漢陽大教授などを中心に議論が行われた。宗教平和分科でキム・ドゴン圓光大教授は、「後天開闢思想の解釈と理解—統一教の平和論と関連して」を発表し、イ・チャンイク翰林大教授は「宣布」を中心とした文鮮明先生の摂理展開について言及し、「言葉が作る新しい世界に対して—統一概念と想像の宗教政治学」というタイトルの論文を発表した。最後にキム・ハンジエ新宗教学会会長は、「文鮮明・韓鶴子先生の永世平和思想と宗教平和運動」に対する見解を明らかにした。一連の発表についてユン・スンヨン韓国宗教文化研究所教授、コ・ゴノ教授、アン・ヨニ鮮文大教授がコメントした。学術思想分科では、チン・ソンベ統一思想研究院院長の「帰納・演繹モデルと統一思想の普遍的定礎」、セロバ清心神学大学院教授の「文鮮明先生の絶対価値の重要性」、ルイス博士(Unification News Press、米国)とハン・チョリ鮮文大教授の「星間旅行の二重的特性と新科学」などが発表された。多少、一般参加者が理解するには難しい学術的な概念について、チェ・ジョンチャンブリッジポート大学教授とファン・ジンス清心神学大学院教授、アンドウ・シュンイチ鮮文大教授がコメントを通して内容を整理しながら発展的議論を続けた。(次の面に続く)

ヨハン・ガルトゥング博士と平和学について議論

午後3時50分から行われた第2部分科討論では、社会運動、未来平和、家庭平和、文化芸術、平和学など5つの分野の発表と討論が行われた。最も注目を浴びた平和学分科はイ・ジェボン圓光大教授が座長を務め、主題発表なしにヨハン・ガルトゥング博士を中心に韓半島の現在の状況を共有した後、今後の南北関係改善及び平和定着に関する白熱した討論が行われた。

平和学分科に参加した教授らは、光復70周年の意味を生かして真の平和と統一を達成するには、南北韓の信頼構築はもちろん、周辺大国が相互に協力できる平和のビジョンが共有されなければならない、これを持続的に推進できるリーダーシップが要求されることで意見を共にした。

平和学分科に参加したキム・スミン鮮文大教授は「現在、硬直している南北関係を解決するための現実的議論が行われ、ガルトゥング博士も終始真剣に南北関係の改善のための周辺国の役割について提案した」と語った。

社会運動分科でNGO研究の最高の研究者に数えられるパク・サンピル韓一長神大学教授は「統一教会の平和運動の現状と意義」というテーマ発表で、「統一教会のNGO活動が積極的平和を具現するための活動」だったことを概括的に説明した。続いて「こうした活動が発展的に相続されるためには、市民社会及びNGO理論に対する学習の拡大、宗教的多元性に基いた超宗教的和合、創意的な運動方法の開発などが必要」と提案した。

ファン・ウォンジェテネシー州立大教授は、「政治的に見た統一思想とその運動の歴史的意義」というテーマで、「文鮮明先生は一つの宗教的分派として社会の中にとどまることなく、各界各層から支持を受ける世界的な組織を備えた運動を展開してきた。こうした原動力は、統一思想の理想と追求するとこ

ろが組織自体の利益にとどまらなかったからである」と評価した。

一方、イスラム信者のラマ・ブジャン(マラヤ大、マレーシア)教授は、「文鮮明・韓鶴子総裁の女性運動に対する学術的照明」で、「文鮮明・韓鶴子総裁の先見の明によって創設された世界平和女性連合は、利他的献身と支援の中で世界的なNGOに成長した」と語った。続いてこれらの発表に対してベ・ハンドン(慶北大)、オム・サンユン(世宗研究所)、チョ・ヒウォン慶熙大教授が討論を行った。

多様な領域の平和運動について発表と討論続く

未来平和分科でクワン・ドンリ(延辺大、中国)教授は、真のお父様が提案された国際ハイウェイ構想について発表し、コ・ギョミン済州大教授が「海洋を通じた平和-文鮮明先生の海洋観と海洋食料資源と平和」というテーマの論文を共有した。続いてファン・サンソク全南大教授は文鮮明先生の経済平和運動について、「ブルーオーシャン戦略から見た文鮮明先生の経済平和」というテーマで発表した。イ・ホンギョン東亜大教授、イム・サン Chol 尚志大教授、ハン・ジョンス檀国大教授のコメントに続いて掘り下げた討論が行われた。

家庭平和分科では、国際祝福結婚の理想と現実に関する発表が続いた。オ・ギョヨン鮮文大教授は、国際祝福結婚をした家庭の平和認識をテーマにアンケート調査した結果を共有し、ヤノ・タカヨシ世宗大教授は、国際祝福結婚をした家庭の二世教育について発表した。チ・チュンナム全南大教授は、多文化平和運動の観点から、国際祝福結婚の理想に対して評価した。イ・ソンミ全南大教授、ナム・ブヒョン鮮文大教授、イ・ヨンスン大邱大教授のコメントで分科討論がさらに深まった。

文化芸術分科でナ・ヒョンミン慶熙大教授は、美術を中心に文鮮明先生の心情芸術世界論を整理し、キム・テクファン京畿大教授がメディアを通じた平和実現運動について「世界平和と韓半島統一のためのメディアの役割と使命-ワシントンタイムズと世界日報を中心に」というタイトルの論文を発表した。一方、イ・ジェイル鮮文大教授は「文鮮明先生の教育思想と生涯の再照明」をテーマに真の父母様の教育論を紹介した。こうした発表について、パク・アムジョン鮮文大教授、チョン・ヒラク東亜放送芸術大教授、イム・ヒョンジン清心神学大学院大学教授がコメントした。

真のお父様の平和運動の理解広げる契機

分科発表を終えた後、イ・ジェヨン鮮文大副総長兼文鮮明研究院長は、閉会の辞で「文鮮明先生の平和・統一運動のビジョンについて、真剣に発表と討論をしてくださった57人の教授に感謝」と挨拶した。続いて「これまで文鮮明先生を宗教指導者としてのみ知り、学問の場で議論が活発に行なわれていないだけに、国際学術大会をきっかけに議論が行われことを期待する」と述べた。

この日の国際学術大会に参加したハン・ヨンエ慶熙大教授は、「文鮮明先生が平和運動を展開していたとは知っていたが、このように深い思想を基に、様々な分野で平和運動を実践してきたことを知らなかったが、今回詳細に知ることができた」と所感を述べた。

発表とコメントのために参加した教授らも「今回の発表を準備しながら、文鮮明先生の自叙伝とみ言葉集などを読んで非常に感動し、平和運動に対してもより深く理解できた」と語った。〈記事提供：鮮文大学校文鮮明研究院〉



第1分科発表者と討論者ら



第3分科討論の全景



第5分科討論の全景



第7分科討論の全景



第2分科討論の全景



第4分科討論の全景



第6分科討論の全景



第9分科発表者と討論者ら

文鮮明天地人真の父母宇宙聖和3周年宗教記者懇談会

9つの主要日刊紙宗教担当記者参加・ソウルプレスセンターで



文化日報記者とのインタビュー



ニューシス記者とのインタビュー



天宙聖和3周年宗教記者懇談会の全景

文鮮明天地人真の父母宇宙聖和3周年宗教記者懇談会が天暦7月12日(陽暦8.25)、朝鮮日報、中央日報、東亜日報、世界日報など9つの主要日刊紙の宗教担当記者らが参加して、ソウルプレスセンターで開催された。

柳会長 聖和3周年の意味と記念行事ブリーフィング

天宙聖和3周年記念事業組織委員会共同実行委員長・柳慶錫世界平和統一家庭連合韓国会長は、懇談会で真のお父様の天宙聖和3周年を迎える今年には除喪の意味があり、宗教的な観点からも蘇生・長成・完成という意味に帰結される意味深い行事になると説明した。また、今後、真のお父様天宙聖和記念行事は、大陸別・国家別に行事を準備する計画だと明らかにした。

記者は終始真剣に柳慶錫会長のブリーフィングを聞き、準備されたプレスリ

リースを参照して、天宙聖和3周年記念行事に関して一般市民が関心を持つ内容を質問した。特に、記者らは第1回鮮鶴平和賞と全世界120カ国が参加した「ピースロード2015」の世界大長征について重点的に質問した。柳慶錫会長は「鮮鶴平和賞は、真の愛と共生・共栄・共義主義哲学、超宗教・超国家・超民族的思想に基づいて、世界的な平和運動を展開された文鮮明総裁の生涯業績を称え、その崇高な志と精神を相続・発展させるために文総裁の夫人であられる韓鶴子総裁の提案で制定された」と明らかにした後、受賞者選定過程と選定理由などについて説明した。

続いて「ピースロードは、文鮮明・韓鶴子総裁が提唱された国際平和高速道路の意味を含んで表現した言葉だ。全世界を一つの道で連結することにより、人種と宗教、国家を越えて、世界紛争と葛藤を解消し、人類を一つ

の家族にして地球村平和時代を開こうという意味を込めている」とピースロードのビジョンについて説明し、「ピースロード2015」世界大長征の企画背景、目的、進行過程、成果などを共有した。

真の父母様生涯業績の証・家庭連合未来ビジョン共有
柳慶錫会長は「文鮮明総裁の聖和後、3年間家庭連合にはどのような変化があったか」という質問に対して、「家庭連合は韓鶴子総裁の柔らかく穏やかなリーダーシップで、和合と調和をなし、バランスのとれた成長をしてきた」と伝えた。

続いて「全世界194宣教国を基盤に、ネットワークを形成して互いに協力し、総裁ご夫妻の平和と統一のビジョンをなしている。また家庭連合は、神霊と真理の基盤の上に3大革新と現場中心の政策を通じて、国民宗教としての基盤をしっかりと固め、過去に比べて組織的かつ体系的な成長をしている」と明らかにした。

また、柳会長は「文鮮明総裁が残されたみ言葉を本にまとめたものが1000冊に達するが、韓総裁がこれを集大成して『天聖經』『平和経』『真の父母経』など三冊の経典を編纂した。また、経典を中心として宗教憲法を制定し、世界機構を整備する作業が進めてきた」と語った。

天宙聖和3周年記念事業組織委員会は、「平和で世の中を連結しよう」というテーマで、国境、人種、文化、宗教、理念の壁を越えて、平和世界を実現するための様々な記念行事を企画・進行している。天暦7月15日(陽暦8.27)、米国ラスベガス、アフリカ喜望峰、チリ・サンチアゴから出発した「ピースロード2015」世界120カ国縦走完了式が、ソウル光化門中央広場と汝矣島国会議員会館大会議室で開催された。次の日には、「第1回鮮鶴平和賞」の授賞式が開かれ、キリバスのアノテ・トン大統領とインドのモダドゥグ・ヴィヤイ・グプタ博士に最初の鮮鶴平和賞が授与されると伝えた。

文鮮明天地人真の父母宇宙聖和3周年記念は、天暦7月17日(陽暦8.30)午前9時、京畿道加平郡清心平和ワールドセンターで、海外の前・現職国家元首と国内外の主要人士をはじめ、3万人が参加して行われる。

天宙聖和3周年を前に、柳慶錫会長は、世界平和と人類の未来のために献身的な生を生きてきた真の父母様の生涯と業績を証し、家庭連合の未来ビジョンを伝えるために、世界日報、文化日報、京郷新聞、ニューシス、週刊京郷、月刊中央など主要メディアとインタビューした。〈記事提供:企画広報局〉

韓国宗教協議会で天宙聖和3周年記念「宗教指導者親善サッカー大会」開催

宗教平和と和合のために5宗団8チーム参加…大倭教チーム優勝

韓国宗教協議会(以下、宗協)は天暦7月9日(陽暦8.22)、京畿道河南市河南総合運動場、国民体育センターで5宗団8チームと共に「多宗教共同体のための宗教指導者親善サッカー大会」を開催した。

文鮮明天地人真の父母天宙聖和3周年を記念して、宗教間の平和と和合を祈願する場として設けられたこの日の大会は、世界平和統一家庭連合、韓国仏教太古宗、大韓天理教、大倭教、末日聖徒イエス・キリスト教会など5つの宗団の最高宗教指導者をはじめ、各宗団の選手と応援団など300人余りが参加して盛況を博した。

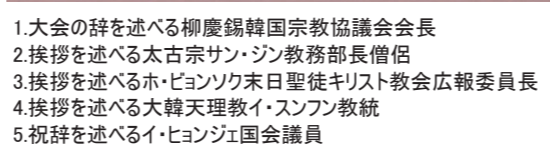
宗教平和と共同繁栄のための一歩

柳慶錫宗協会長は大会の辞で、「私たちが集まったのは、サッカーを通して互いに汗を流して走れば、お互いにコミュニケーションすることができ、和合することができるという平和の精神にその基礎を置いている」とし、「この大会が成熟した宗教文化と平和世界の実現に貢献する場として発展することを期待する」と述べた。

更に柳会長は「さまざまな宗教が共存する韓国社会で、開かれた心で相互協力して心をつなげて参加してくれたすべての宗団の高貴な志と実践は、韓国宗教界の平和と共同繁栄のための貴い歩みになるだろう」と激励した。

続いて太古宗・青蓮寺住職のベグ僧侶は、教務部長サンジン僧侶が代読挨拶で「調和と平和を祈願する今日のサッカー大会が持っているその価値は非常に大きい」とし、「ここに集まった人たちの宗教は異なるが、サッカーを通じて平和を愛し貴い善の価値を追求する私たちすべては、地球村の兄弟のようだ」と伝えた。

大韓天理教イ・スンフン教統は、「宗教の独特性を相手に過度に強調するとき、葛藤と衝突が起きるが、お互いに対話を通してコミュニケーションすれば、その根が一つであることが分かる」と指摘し、「今日、サッカーというコミュニケーションの媒体を通して互いに和合する貴い時間になってほしい」と語った。



1.大会の辞を述べる柳慶錫韓国宗教協議会会長
2.挨拶を述べる太古宗サン・ジン教務部長僧侶
3.挨拶を述べるホ・ビョンソク末日聖徒キリスト教会広報委員長
4.挨拶を述べる大韓天理教イ・スンフン教統
5.祝辞を述べるイ・ヒョンジエ国会議員

6.家庭連合牧会者チームと太古宗・青蓮寺チームの試合
7.優勝した大倭教チームが記念撮影する
8.末日聖徒教会壮年チームと太古宗・青蓮寺チームの試合
9.家庭連合牧会者チームと天宙平和士官学校チーム
10.開会式に続き、宗教指導者と代表選手ら全体の記念撮影

末日聖徒イエス・キリスト教会ホ・ビョンソク韓国教会広報委員長は、「今日の行事を通して隣の宗教間の愛と理解がより一層深まり、平和のネットワークが形成されるだろう」と展望し、大倭教ウォン・ヨンジン司教はイ・チャング南北交流協力チーム長が代読した挨拶で、「宗教家間で深い信頼と信仰で、美しい私たちの社会が作られるだろう。一緒に疎通して一つになろう」と述べた。

イ・ヒョンジエ国会議員(セヌリ党、河南市)は「韓国のような多宗教社会では、宗教間の対立を解消するための機構が必要」と前提した後、「宗教間の協力体制の風土が造成されていない韓国の宗教文化の現実で、今日こ

の場に韓国を代表する宗教代表指導者が一緒に集まったことは、非常に大きな意味があると思う」と語った。また、イ・ギョボム河南市長は祝電を通して、「今回の行事が河南で開かれることを光栄に思い、行事を主催した韓国宗教協議会と参加したすべての宗団の健勝を祈願する」と伝えた。

スポーツ交流による多宗教・多文化祝祭

特にこの日の大会には、全北淳昌郡宗教人協議会連合チームが参加し、さらに大きな話題を集めた。淳昌連合チームは、仏教、儒教、カトリック、円仏教、家庭連合

などが登録された宗教協議体で、宗団間の対話は勿論、地域社会発展のために多くの活動をしている。

淳昌郷校カン・ビョンムン前典校は「淳昌宗教人協議会のような協議体が全国各地に作られれば、私たちの社会は宗教間の対立がない社会となり、それを子孫に伝えることができる」とし、「丸いボールを通して作られる平和と和合の広場で、お互いを理解する貴い時間になってほしい」と語った。

今回の大会は、各宗団を代表する聖職者と指導者で構成された8つのチームがトーナメント方式で試合を行い優勝を争った。予選は「太古宗青蓮寺」と「家庭連合牧会者」チームの最初の試合を皮切りに、「末日聖徒イエス・キリスト教会壮年」と「淳昌宗教連合」「大韓天理教」と「末日聖徒イエス・キリスト教会青年」「大倭教」と「家庭連合天宙平和士官学校」チームがそれぞれ対戦した。

熱を帯びた試合を繰り広げた中で、大倭教チームが優勝し、末日聖徒イエス・キリスト教会青年チームが準優勝、3～4位決定戦では、淳昌連合チームが家庭連合牧会者チームに勝ち3位となった。また、番外試合で1～4位戦に出場できなかったチームは、団体縄跳びをして

友誼を深める時間を持った。今回の大会に関連して宗協ウォン・インジン事務総長は、「宗教指導者親善サッカー大会を契機に、スポーツを越えて音楽、踊り、食べ物など様々な分野まで一緒に和合して理解し共有する多宗教・多文化祝祭に発展させる」という抱負を明らかにした。

一方、創立50周年を迎えた宗協は、これまで宗教平和文化祭、宗教人体育大会、宗団訪問及び交流、聖地巡礼、学術セミナー、南北統一運動、海外ボランティア活動などの宗教平和と和合のための汎宗教的活動を展開してきた。また、「宗教指導者親善サッカー大会」は、2012年から毎年1回開催しており、今年で4回目を迎えた。〈記事提供:韓国宗教協議会〉

天宙聖和3周年記念週間・天運相続された祝福の賜物に満ちる

世界平和統一家庭連合2015年上半期4000余双の祝福家庭輩出



文鮮明天地人眞の父母天宙聖和3周年記念週間を迎え、天運相続の祝福の賜物が信仰の祖国大韓民国に充滿している。天曆7月6日から13日まで(陽曆8.19~26)本部、ソウル西部、ソウル南部、京畿南部、京畿北部、忠北、忠南、大田、大邱、江原、仁川、全南、海洋、蔚山、済州など15教区で祝福式が行われた。今週の祝福行事で世界平和統一家庭連合は、2015年上半期4000余双の祝福家庭を輩出した。

でパク・ Cholhon 都議會議員は祝辞で、「文鮮明総裁は国際祝福結婚を通して韓国多文化社会に希望の灯火を灯された」とし、「祝福に込められた貴い賜物を大切にすることを望む」と願った。

チョン・ジェフン カン・スッキ家庭430双祝福完了

天曆7月13日(陽曆8.26)、台風15号が過ぎた後、澄んだ晴れた日ざしが麗水の一日を開く中で、眞の愛・眞の生命・眞の血統で生まれ変わる海洋教区既成祝福式が、柳慶錫会長夫妻の執典で227双の既成・独身家庭が参加して、麗水ジ・オーシャンリゾートホテル・グランドボールルームで盛大に行われた。

この日の祝福式を通して海洋教区チョン・ジェフン、カン・スッキ家庭(既成6000家庭)が、430双の祝福を完了した。チョン・ジェフン家庭は眞のお母様が祝福された神氏族的メシヤの使命完遂を決意して以来、6月から40日間、毎日、各家庭やマウル会館を訪ね、祝福説明会をするなど積極的に活動した。

天曆7月9日(陽曆8.22)、天の運勢圏を相続するための既成祝福の熱気は忠北教区を中心に続いた。金寅植教区長は、礼式の辞で聖書に記録されたニコデモの逸話を紹介し、「人間の目で生まれ変わることを恐れてはならない。今日、再生と復活の儀式である祝福式に参加した皆さんが眞の愛で眞の家庭をなすことを願う」と願った。

京畿北部教区祝福式が天曆7月6日(陽曆8.19)、120双の既成・独身家庭をはじめ、祝賀客など200人余りが参加して江原道楊口KCPホテルで恵み深く行われた。ファンボ・グン教区長は、礼式の辞で「家庭は教育の場であり、人格形成の空間である。大韓民国発展のために、健康な家庭を作ることが、今日の私たちの役割であり使命であることを覚えておかなければならない」と強調した。祝福式を終えた参加者は、トンネル見学をした後、北の地を眺めながら、統一に対する切実な願いを込めて祈った。

九里教会ベ・ギソク、キム・ミギョン家庭は「弟が九里で牧会をして、2台目の長老教の信仰をしてきた敬虔なクリスチャン家庭出身であるため、統一教会に対する否定的認識を持っていた」として、「祝福式参加をきっかけに、文鮮明総裁を天が下されたということをはっきりと感じることができた」と所感を述べた。

祝福式参加し生涯最高の栄誉

「2016天地人眞の父母天宙祝福式(以下、祝福式)」が天曆7月9日(陽曆8.22)、眞の父母様に代わって柳慶錫会長夫妻が執礼し、300双以上の既成・独身家庭が参加して、本部教区天福宮教会3階大聖堂で行われた。今回の祝福式は、本部教区を中心にソウル西部・ソウル南部教区が共同主管した。

柳慶錫会長は礼式の辞で、「クリスチャンは十字架の苦難の後、復活したイエスの賜物で霊的救いを得ることができたが、眞の父母様を通して祝福を受けた人類は、原罪を清算して血統転換し霊肉併せて完全な救いを受けることができる」と強調した。続いて「行事に参加した全てが、眞の愛の伝統を守り後孫に見本となる生を送ることを願う」と祝福した。この日の祝福式に参加した天福宮教会コン・ジュンジョン、イ・ジェグム家庭は「祝福式参加を生涯最高の栄誉だと思う。家庭の価値観が確立されずには、社会問題を根本的に解決することができないという礼式の辞に共感する」と述べた。

天曆7月9日(陽曆8.22)に開催された大田教区の既成祝福式には、125双の既成・独身家庭が参加した。大田教区はイ・スンイル教区長のリーダーシップの下で、教区所属の教会全体が2~3回ずつ祝福説明会を行なった土台の上で、論山教会と錦山教会での祝福式を含み、今回の祝福式まで合計222双の祝福家庭を輩出した。特に、この日の祝福式で家庭連合、キリスト教、仏教、道教の聖職者らが宗教和合を念願して超宗教合水式を挙行し、続いて各宗教の儀式に基づいて新郎・新婦の幸福を祈願した。

天の運勢を相続するための全南教区既成祝福式は天曆7月7日(陽曆8.20)、110余双が参加してソン・ジョンソプ全南教区長夫妻の執礼の下で、潭陽畜協4階結婚式場で恵み深く行われた。この日の祝福式



1.成婚問答をする柳慶錫会長夫妻
2.大田教区祝福式で行われた超宗教合水式
3.海洋教区祝福式後の団体記念撮影

4.天福宮教会で開催された祝福式の全景
5.眞の愛の実践を誓っている仁川教区祝福式の参加者

天宙聖和3周年記念事業・環境変化に地球村の積極的共同対応必要



1.開会の辞を述べるチャ・ジュンヨン世界日報社長
2.基調講演を述べるヤン・スギル前緑色成長委員会委員長
3.祝辞を述べるユン・ソンギョ環境部長官

4.記念撮影する各界専門家と来賓ら
5.2015世界気候環境フォーラムの全景

世界日報主管「2015世界気候環境フォーラム」が天曆7月14日(陽曆8.27)午後3時、ユン・ソンギョ環境部長官、金玟河世界日報会長、チャ・ジュンヨン世界日報社長、ヤン・スギル前大統領直屬緑色成長委員会委員長、クォン・ウォンテ韓国気候変動学会会長、キム・デギョン(57)韓国スマートグリッド事業団専門委員、世界平和統一家庭連合・李現榮韓国副会長、ユン・スンジンソウル大教授、チョ・ヨンソン高麗大教授をはじめ、内外の貴賓300人余りが参加した。世界日報創立者・文鮮明師聖和3周年記念事業の一環として開催されたこの日の行事は、人間の無分別な資源開発とエネルギー過剰消費による気候環境の変化で、地球共同体の持続可能性が脅かされている状況で、人類の生存と繁栄のための環境問題解決の知恵を共有するために企画・進行された。

「気候環境変化と持続可能性：診断と解法」テーマ

チャ・ジュンヨン世界日報社長は、同日フォーラム開会の辞で「温室効果ガスの排出に伴う地球温暖化と、それに伴う生態系の変化は、すでに私たちが体感できる状態に達している」と指摘し、「気候環境の変化はどの程度か、如何に対処すべきかという問題は、いくつかの団体や国だけが関心を持つのではなく、全地球村が対応に乗り出さなければならない課題」とし、「今回のフォーラムが、気候環境変化の深刻さを認識するきっかけになることを願う」と行事開催の趣旨を明らかにした。ユン・ソンギョ環境相は祝辞で、「欧州・北米の野生ミツバチとコロンビア川流域のサケが、気温上昇に適応できず大量絶滅を目前にしているというニュースが聞こえる」とし、「北極グマ、蜜蜂そしてサケが住めない地球で、人間だけ一人繁栄することはできない」と警告した。続いて、「全世界の宗教指導者も、気候変動のための倫理的実践を要求している」とし、「今日のフォーラムで(扱われる)気候変動に対する冷徹な診断と解決法をもとに、国民一人一人がそれぞれの生活の問題として、気候変動の長征に

同参することを期待する」と語った。ヤン・スギル前大統領直屬緑色成長委員会委員長は、「気候環境の変化と持続可能性：診断と解法」というテーマの基調講演で、「温室効果ガス排出削減の議題に対する合理的分析と透明な議論の枠組みを設定すべきであり、我が国が温室効果ガス排出削減協力方案を先導的に提示すべき」とし、「このために後方予測方式を温室効果ガス削減のための戦略樹立手法として導入し、最終的目標達成を果たすべき」とした。

環境により人類の危機克服の知恵収集

クォン・ウォンテ韓国気候変動学会会長は、「気候環境科学が語る地球村の未来」という発表文で、近い将来に起こりうる気候変動と影響を分析した。クォン会長は「気候変動の原因究明に関する国連傘下の『気候変動に関する政府間協議体』(IPCC)の評価報告書を見ると、人間の人為的影響が、20世紀半ば以降、観測された温暖化の主な原因であると分析される」と述べた。キム・デギョン韓国スマートグリッド事業団専門委員は、「ICT技術を活用したエネルギー効率革命」という発表文で、「過去には、エネルギー効率を高くするには、単に機械を交換する必要があったが、今は情報通信技術の発達で、絶えず効率が進化する『スマートグリッド』が可能になった」と語った。スマートグリッドとは、従来の電力網に情報通信技術を融合して、電力供給者と消費者がリアルタイムで情報を交換し、エネルギー効率を最大化する新しい電力網である。この日のセミナーは、アン・ビョンウク気候変動行動研究所長が座長を務め、主題発表後にはソウル大環境大学院ユン・スンジン教授と高麗大学食品経済学科チョ・ヨンソン教授が発表内容についての議論を行った。世界日報は、人類の未来のために環境問題解決のために努力してきた創始者・文鮮明総裁のビジョンと哲学に基づいて、人類がかかえる危機を共同で克服しようという趣旨で、昨年「2014世界食糧・森林フォーラム」を開催したのに続いて、今年「2015世界気候環境フォーラム」を開催した。〈記事提供：世界日報〉

第1回汽笛の音ミュージックフェスティバル 家庭連合と韓国CARP共同主催で開催

天宙聖和3周年記念、真の父母様の心情と文孝進様の実践的孝の人生相続の場



1.1等賞と人気賞を獲得した清心バンドの公演
2.祝辞をする柳慶錫家庭連合韓国会長
3.激励演説をする権仁成ワールドCARP会長
4.歓迎の辞を述べる文相弼韓国CARP会長



天宙聖和3周年記念私たちの歌創作コンテスト「第1回汽笛の音ミュージックフェスティバル」が天曆7月9日(陽曆8.22)、世界平和統一家庭連合(以下、家庭連合)と韓国大学原理研究会(以下、韓国CARP)の共同主催で10チームが本選に参加し、家庭連合と韓国CARPの公職者、食口、CARP会員など300人余りが参加して龍山区青坡洞にある韓国CARPセンターで開催された。この日の行事は、真の父母様の心情と文孝進様の実践的孝の人生を相続し、実体天一国時代に合った新しい文化コンテンツ開発のために企画され、文妍娥世界平和女性連合世界会長、文薫淑ユニバーサル文化財団理事長、柳慶錫家庭連合韓国会長、権仁成ワールドCARP会長、文平來世界平和武道連合会長、文相弼韓国CARP会長、李現榮家庭連合韓国副会長などが出席した。

心情文化中心の文化・分かち合いの祝祭

柳慶錫会長は祝辞で「今は文化革命時代だ。私たちは、真の父母様から始まった心情文化の伝統をさらに発展的に相続させなければならない」と強調し、「参加チームが準備した私たちの歌を通して真の父母様の心情を考え、真の『私』を探ることができる文化・分かち合いの祝祭になることを願う」と祝賀した。

続いて「この行事がCARPの小さな動きで終わるのではなく、遠い未来、統一家の心情文化発展史に一ページを飾る意味深い行事になることを願い、共におられる真の父母様の温かい手を感じて和動し楽しむことを望む」と述べた。

権仁成ワールドCARP会長は激励の辞で「統一家にとって大きな希望は

CARPだ。このすべてが真の父母様のものであると感じ、創造的な心情文化の基盤を造成するのに貢献する皆さんになることを願う」と述べた。韓国CARP文相弼会長は歓迎の辞で「真のお父様が直接、聖歌を歌詞・作曲され、新しい時代への希望を歌に込めて共有された」と明らかにした後、「私たちが叫び歌う歌が、奇跡を作ることができる原動力になることを望む。天のみ旨の前に立った青年学生が、Vision 2020勝利に対する新たな出発を決意する時間になることを願う」と希望を伝えた。

世界平和女性連合、世界平和青年連合、ユニバーサル文化財団、統一グループ、一和、龍平リゾート、清心、MK企画、愛苑など摂理機関と企業体がこの日の行事を後援した。また、韓国CARP文相弼会長、サカタ教授、イ・ヨノク天福宮讃頌団指揮者、チェ・ヒョンソクMK企画代表(文孝進・ミュージック・フェスティバル準備委員長)、オ・サンジン松坡教会長、ソ・イング北米大陸本部事務局長などが審査員を務めた。

清心バンドの「清心」1位・参加曲音源化普及予定

この日のコンテストで予選を通過した10チームが第1部と第2部に分かれて公演を行い、続いて祝賀公演と審査が行われた。第1部では、PURE(陝川教会)の「祝福を受けます」、ハ・テウ会員ほか1人の「私たちの心情が漂う歌」、紀元前の「もう大きく笑うよ」、天福宮青年大学讃頌チームの「永遠の信仰」、N分の1(江原CARP)の「私たちの家」などが情熱的な公演をした。審査が行われる間、鮮文大学のサークル再生が「統一進軍歌」と「汽笛の音」の2曲を祝賀公演した。

サカタ教授は、第1部の全体審査評で「音の力は神様から与えられた大きな

贈り物である。真の愛が表現され、これに共感すれば、動くことができる力が生じる。舞台上上がったチームは技術的に未熟だが、天の父母様と真の父母様に対する愛と文孝進様に対する懐かしさなど感動が含まれていた」と参加チームの精誠と努力を激励した。

第2部コンテストでは蔚山教会真の天の声讃頌団の「時間を訪ねて」コファミリーの「ただ真の父母様」、キ・フソ食口の「心情の縁」、清心バンドの「清心」、ヒバンドの「私たちが幸福な世界」などが舞台上上がった。コンテスト後には、中央学生会文化チーム「シンミョン」が祝賀公演をした。

オ・サンジン松坡教会長は、「この大会が継続的に開催され心情文化の伝統相続と共に、現在の文化を先導する新しい心情文化を作って行くことを願う。今後、文孝進様が開拓した心情文化の土台の上に真の父母様を証す文化コンテンツがたくさん出て、世界を変える日を期待する」と希望を明らかにし、第2部各チームに対する審査評を伝えた。

「第1回汽笛の音ミュージックフェスティバル」では、熾烈な競争の末、清心バンドの「清心」、N分の1の「私たちの家」、コファミリーの「ただ真の父母様」などがそれぞれ1位・2位・3位になり、残りのチームは激励賞を受賞した。1位を受賞した清心バンドは、文妍娥女性連合世界会長から賞状と賞金が授与され、さらに人気賞も受賞した。

清心バンドの「清心」は「私たちの使命を認識し、お互いに力になって、さらに誰もが真の愛を感じることができるその日を願う」という内容を込めたオリジナル曲である。韓国CARPは、この日参加した10チームが歌詞・作曲したすべての曲を音源化して配布する予定で、新たに改訂する「私たちの歌本」にも収録する予定である。<記事提供:韓国CARP>